

翼

つばき

映画「アンダンテ～稲の旋律～」 千葉県上映推進委員会の発足

町長 佐藤 晴彦

（千葉県を代表する組織で支援）

町広報紙でお知らせしておりますように、横芝光町を撮影場所とした映画「アンダンテ～稲の旋律～」の制作が進んでおりますが、先日、千葉テレビ放送本社において「アンダンテ～稲の旋律～」千葉県上映推進委員会の発会総会が執り行われました。

この会は、この映画の上映を推進するため、映画制作を支援する「横芝光町民の会」の代表である私と千葉県農業協同組合中央会の林会長、千葉県生活協同組合連合会の田島会長理事、千葉テレビ放送の中野社長らの4名が発起人となり、県内40以上の団体の参加を頂きながら発足

したもので、この映画の成功を誓い合いました。

（この映画のテーマと意義）

この映画は、現代のスピード社会に付いていけない一人の若い女性がうつ病を引きこもりにつながってしまい、都会から逃



▲横芝光町民の会発足会

げ出したところに稲の海を目に、風で葉の擦れる音を耳にして感慨深く涙するところから始まります。ある日から農家で生活するようになり、農業を体験して稲の生長とともに生きていくなかで本来の自分を取り戻すと言うもので、更にはその中で収穫の喜びを覚え、食と農の大切さや現代の日本が抱える農業問題についてもテーマとして取り上げているものです。

そもそもアンダンテとは、音楽用語で「ゆつくりと歩くはやさで」という意味で、映画の内容と素晴らしいマッチングをみせており、誰にでも感動を与えられる素晴らしい作品になるものと大きな期待を寄せているもので、千葉県のみならず全国の皆さんに是非見ていただきたいものです。

（そうそうたるキャストに大に期待）

主演はNHKの歌番組の司会や舞台女優として売り出し中の新妻聖子さんと、共演は寛利夫さん、そのほか秋本奈緒美さんや松方弘樹さん、村野武範さん、中条きよしさんなどと素晴らしいキャストで、松方さんや中条さんはこの作品の素晴らしさと重要性を重く受け止め出演を快諾されたと伺っております。

横芝光町がロケ地となったのは、原作者の旭爪あかねさんが実際に農業体験を行ったのが当町であったためで、撮影においても当町が主になりますので、この映画上映により横芝光町を全国に知ってもらうきっかけになつてほしいと願っています。

（ふれあいをもたらした意欲）

撮影も5月の連休にクランク



▲わが町の広大な田園風景を舞台に

インしてから天候にも恵まれ順調に進んでおり、6月の撮影には、私も撮影現場に赴き出演者の皆さんとお話をさせて頂きました。東京から車で約1時間の所に心が癒される自然があることに驚きを感じたことや、田植えの楽しかったこと、地元のお母さん方が握ってくれたおむすびがとても美味しかったことなどを話してくれました。また、それを聞いた地元の人々に「収穫の時はもつと感動を受け幸せを実感できますよ、ましてや自分で収穫したお米で作ったおむすびを食べればなおさらです。」と言われたことで、益々意欲が湧いてきたことなどを満面の笑みを浮かべながら語ってくれました。

（映画を通じた活性化）

映画の完成は、11月末頃と伺っており、ロケ地となったこの横芝光町で最初の完成試写会を12月初旬に行う予定です。そして、来年には千葉県を皮切りに全国で一般上映される予定です。是非多くの方にご覧いただきたいと思っております。町では、全国に町をPRする千載一遇のチャンスと捉え、この映画を通じて町の活性化に繋げてまいりたいと思っております。